

2021 年度事業計画

1. 基本方針

2019年11月13日のまちびらきによりハードとしての基盤が整ったまちにおいて、公園、商業施設、パークライフ・サイト（以下、まとめて「3施設」とする。）という、まちの3つの機能が連携しながら、まち全体を楽しく使いこなし、まちのブランディング・活性化に資する活動に積極的に取り組むことで、新たな暮らし方として、南町田ならではのパークライフをより魅力的なものに醸成していくことが期待される。

2021年度は、当財団が活動を支援する2期目の年度であり、2020年度実施事業から得た課題を踏まえ、3施設の運営主体がまち全体を使って実施するイベント等の活動を支援するだけでなく、3施設間の連携体制の構築や連携時の事務業務等に対する費用も支援する。

2. 2020 年度実施事業の概況

(1) 資金助成事業

①資金助成に関する事業

- ・ 3施設の各運営者に対する資金助成時のマニュアル・申請様式作成

②資金助成を行った主な活動【活動主体】

- ・ まちライブラリー運営【一般社団法人まちライブラリー】
- ・ まち運営基本コンセプト作成業務【商業施設運営者・当財団】
- ・ まちホームページ運営・更新【当財団】
- ・ つるまパーク大作戦【鶴間公園指定管理者】
- ・ 鶴間公園イルミネーション【鶴間公園指定管理者】
- ・ 商業テナントによる公園イベント【鶴間公園指定管理者】
- ・ 鶴間公園黒板活用備品購入【パークライフ・サイト運営者】

(2) 資金収集・管理事業

①資金収集に関する事業

- ・ 視察依頼の対応による視察料収入の確保及び視察受け入れマニュアルの作成

②資金管理に関する事業

- ・ 月1回顧問税理士との会計定例を実施

3. 2020 年度実施事業から得た要点と課題

- ・ 当財団から資金助成を行ったイベント等を通じて、従前の商業施設や公園ではみられなかった施設間の連携意識が生まれ、まちのブランディング・活性化に資する事業の幅も広がった。一方で、3施設間の連携業務を運営者側で全て担うには業務に対する負荷が大きいという課題も見えてきたことから、当財団の資金助成対象を3施設の運営者が実施する

イベント等の費用に限らず、3施設間の連携体制の構築や連携時の事務業務等に対する費用についても資金助成対象とし、積極的・効率的な連携体制が継続して行えるよう支援する必要がある。ただし、当財団の資金助成事業は、3施設が連携しながら、まちのブランディング・活性化に資する活動やイベント等の費用を支援することに重心を置いていることから、連携業務に関する資金助成は、2～3年程度を目途とし、長期的には、各運営者の運営管理業務の一環として行えるよう促す必要がある。

4. 実施事業

(1) 資金助成事業

南町田グランベリーパークの活性化やブランディングに資する活動に対する資金助成を行う。

特に、3施設の運営者間の連携体制の構築に必要な費用に資金助成することで、連携体制の強化を支援する。

(2) 資金収集・管理事業

南町田グランベリーパークの活性化やブランディングに資する活動に必要な資金収集を行い、管理する。

資金収集事業の一環として、南町田グランベリーパークの視察依頼に対応し、視察料を収受する。

以上